

令和6年度 指定管理施設に係る事業報告概要

施設名	千代田区立障害者就労支援施設 (ジョブ・サポート・プラザ ちよだ)	所在地	千代田区九段南1-2-1
-----	--------------------------------------	-----	--------------

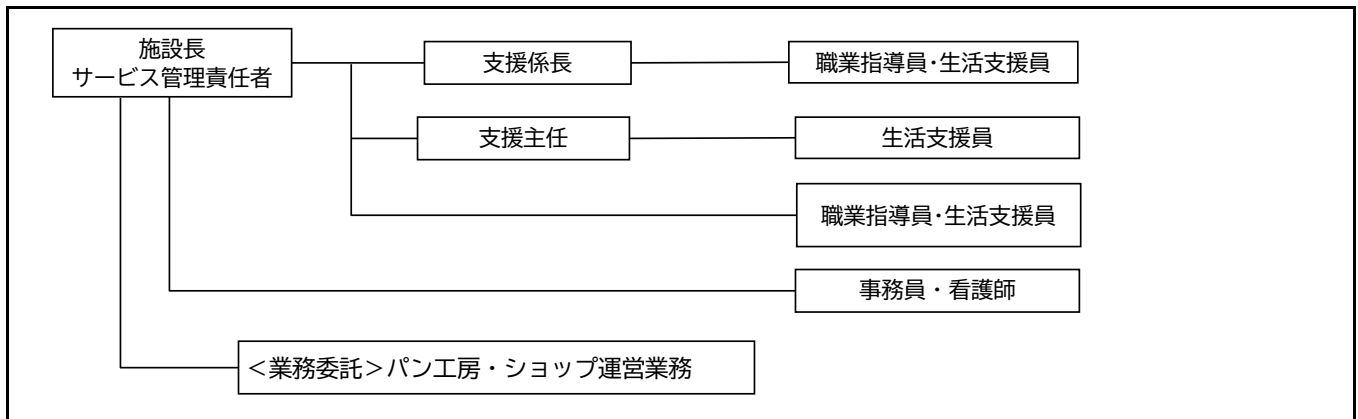
1 指定管理者の概要

名 称	社会福祉法人 武蔵野会	代 表 者	理事長 山田 貴美
所在地	東京都八王子市旭町12-4 日本生命八王子ビル2F		
指定期間	令和4年4月1日～令和13年3月31日	報告期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

2 管理施設の概要

施設の目的	障害者に対し生産活動その他の活動の機会を提供することで障害者の自立を促進し、もって障害者の福祉の増進を図ることを目的とする。
管 理 業 務 の 内 容	(1) 障害者総合支援法第5条第13項に規定する就労移行支援に関する事業 (2) 同法第5条第14項に規定する就労継続支援に関する事業 (3) 同法第5条第7項に規定する生活介護に関する事業

3 管理体制の状況



4 事業実績等

ア 利用者数

提供サービスの種類	就労移行支援	就労継続支援(B型)	生活介護
令和6年度	0人	22人	11人
令和5年度	0人	19人	10人
令和4年度	1人	20人	10人

イ 行事・余暇支援

- ・季節レク 6回
- ・個別外出プログラム 10回(1人年1回)
- ・一日外出 4回(1人年1回)(新型コロナ流行に伴う宿泊中止の代替)
- ・暑気払い・納会・仕事はじめ 3回
- ・クリスマスコンサート 1回

ウ 地域イベント等への参加

- ・区一斉清掃活動
- ・えみふる納涼祭
- ・昼休みコンサート
- ・ふれあい福祉まつり
- ・ダイバーシティパーク2024
- ・文化芸術の秋フェスティバル
- ・MIW祭り
- ・みんなの東郷公園まつり
- ・番九クリスマスマルシェ
- ・「障害者週間」記念理解促進事業
- ・Sales Force Japan
- ・Xmas Design Market
- ・白百合学園高等学校クリスマス演奏会
- ・暁星小学校
- ・心をつなげる福祉マラソン大会

5 収支の状況

収 入		支 出	
自立支援給付費収入	67,770,804円	人件費	93,225,057円
利用者負担金収入	71,320円	事業費	4,604,405円
受託事業収入	36,241,000円	事務費	5,367,389円
その他の収入	4,506,200円	その他の支出	4,098,049円
合計 (①)	108,589,324円	合計 (②)	107,294,900円
収支差額 (①－②)	1,294,424円		

5-2 収支の状況

収 入		支 出	
就労支援事業収入	22,009,356円	就労支援事業支出	21,849,122円
収支差額	160,234円		
工賃変動積立金取崩額	0円		

6 指定管理者による自己評価

サービス提供に関して	収支に関して
運営は、法人理念である「自分を愛するようにあなたの隣人を愛せよ」に則り、利用者の人権を守り、その意思を尊重し、利用者一人ひとりがその個性や能力を十分に発揮できるよう、安全、安心、満足できる環境を整備し、心身の健康の維持・増進を図るとともに、利用者が日々の生活に喜びや生きがいを感じ、地域社会の中で豊かな暮らしが送れるよう支援を行った。 就労継続支援B型・生活介護事業の実施は、相互に連携して一体性をもって実施し、生活介護の重度障害者であっても働いて収入を得られるとともに、それぞれの障害特性や興味・関心に応じた個別的で充実感が得られる作業活動になるよう努めた。利用者は、焼き菓子製造等を中心に行う「サブレ班」、軽作業を中心に行う「A班」・「B班」の3つの作業班のいずれかに所属し、施設外の活動(販売・清掃・植栽・広報板 等)は利用者の意向や障害特性、能力に配慮し計画的に参加してもらった。販路の拡大や新しい取引先とも結びつき、利用者の方の活躍の場も増えた。昨年度と比べ所外活動の回数も平均週2回以上となり成果をあげた。結果、利用者の工賃は、目標月額平均工賃25,945円を達成した。	施設会計は3期目となる。千代田区の指定管理料は総収入額の27.69%になる。就労移行、就労継続支援B型、生活介護の障害者総合支援法の報酬や利用者自己負担などの収入があった。これらの収入に関わる事業の利用率は、就労移行実績なし、就労継続支援B型72.3%、生活介護86.4%だった。 令和5年度の収入と比較して、指定管理料51,090円の増加、自立支援費等収入8,069,460円の増加、利用者負担金収入193,577円減少、その他の収入4,095,930円の増加、就労支援事業収入1,383,484円の増加で合計13,406,387円の増加となった。自立支援給付費加算や東京都の手当の申請、販路の拡大や新しい取引先との結びつきができたことが増収につながったと思われる。 支出は、人件費11,007,793円の増加、事業費・事務費2,558,530円の減少、その他の支出2,250,764円の増加、就業支援事業支出1,395,191円増加で合計12,095,218円の増加となった。東京都からの新たな手当の支給、製パン・製菓の耐用年数を超過した設備・機械関係の買い替えや設備修繕等予定外の支出があったことが増加につながったと思われる。高額な機器の買い替えを計画的に執行していく。 今後も事業内容の精査や効果検証を行い、収支の安定を図っていく。

7 区による評価・業務改善要求

サービス提供に関しては、個々の障害特性に応じて作業班を分ける工夫をすることにより、利用者の意向や能力等に配慮した就労機会を提供できていることを評価したい。加えて、業務の新規受注や販路拡大にも力を入れたことで、工賃支給における目標額を達成できたことも高く評価したい。 収支に関しても、昨年度に引き続き収支面で安定的な施設運営ができているため、今後も継続していただきたい。
--

8 今後の指定管理に区が期待すること

令和6年度中に就労継続支援B型事業所が区内に複数開所し、区民にとって選択肢が広がってきている中、生活介護事業と一体的に実施しているのは、ジョブ・サポート・プラザちよだのみである。利用者の障害特性や能力に応じて作業の切り出しや班分けを行い、重度障害者であっても活躍の場を提供できていることがジョブ・サポート・プラザちよだの強みであると考えている。 この強みを生かして、今後も利用者が喜びや生きがいを感じられるような支援を継続していくことを期待する。
